

毎月の経営助言で会社を強くするTKC中部会！

秋季大学2019開催報告

日時：10月23日（水）10：30～20：00、会場：名古屋東急ホテル

TKC中部会主催「秋季大学2019」が800名を超える参加者のもと大盛況で開催されました。午前は3つの分科会、午後は基調講演と特別講演が開催され、基調講演は坂本孝司TKC全国会会長より「**税理士の未来～新たなプロフェッショナルの条件～**」、特別講演は六代目三遊亭円楽師匠による「**笑いは心の栄養剤**」をタイトルににご講演いただき、大いに会場が盛り上がりました。



ごあいさつ



TKC中部会
木村茂徳会長

今日の税理士への金融機関を始めとする社会の要請は、**中小企業の財務内容の積極的な開示や、正確で透明性の高い決算書の作成**です。中小企業には公認会計士の会計監査義務がなく、**税理士に、決算書の信頼性向上や経営者に意識改革を促し**企業のコンプライアンス遵守とコーポレートガバナンス強化を支援することが求められ始めています。TKC中部会では「**TKCモニタリング情報サービスでトップを目指す**」を掲げ、40行を超える金融機関と提携し、経営者の積極的な情報公開や、信頼性の高い決算書の提供が**金融機関に評価され始めています**。その評価と期待に応え顧問先企業のためのTKCモニタリング情報サービス実践を強く訴えて、ご挨拶とさせていただきます。

基調講演 「税理士の未来～新たなプロフェッショナルの条件～」

◆TKC全国会の結成目的

TKC全国会の結成目的は、**職業会計人の職域防衛と運命打開**です。つまり「**我々の活躍できる市場を探り当て、切り開いていくこと**」です。職域を防衛し、さらに拡大の機会を捉えるためには、「**我々の職業の本質は何か**」ということを明確にしておく必要があります。

◆税理士の4大業務

「**税務、会計、保証、経営助言の4大業務こそが、我々職業会計人の職業の本質です**」と私は繰り返し申し上げて参りました。月次巡回監査の完全実施、TKCシステムの徹底活用を通じた**4大業務の拡張**が我々の職業を幅広く、深くし、**職域の拡大（業界の発展）に繋がります**。

◆職業会計人が勝ち残るための3つの条件

職業会計人が勝ち残るための条件は次の通りです。

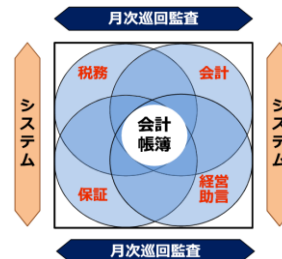
1. **組織化**
2. **社会の納得**
3. **現代の業務への適応・新しい業務の開始**

特に「**社会の納得**」を得るためには「**TKC会計人が実践している業務が社会に正しく理解されること**」

が必要です。TKC全国会第3ステージ運動方針に掲げる①「**TKC方式の書面添付**」の推進、②「**TKCモニタリング情報サービス**」の推進、③「**TKC方式の自計化**」の推進を通して、税理士業界全体が「**社会の納得**」を得られるよう、今こそ個々の会員事務所の力を結集し、組織的な一大運動を起こしましょう！



TKC全国会
坂本孝司会長



月次巡回監査の完全実施

TKC会計人は、月次巡回監査によって会計資料と会計記録の適時性や完全網羅性等を検証する。

TKCシステム

仕訳という単一のソース・データから、多角的に高度な経営計算資料を自由自在に取り出し得るトータルシステムである。

(含：巡回監査支援システム)

◆ 第1分科会：「TKC会員事務所が益々発展する条件とは！
～TKCシステムと共に歩んだ我が人生～」

TKC静岡会 齋藤 保幸先生

会計事務所の実務を行う上で欠かせないもの、それはシステムです。どのようなシステムが会計事務所の**生産性や、提供するサービスの向上に必要となるかを所長自身が判断しなければなりません**。システムの使い方を誤ると、実務はうまくいきません。システムは道具であり、武器となるかどうかは所長の利用の在り方次第です。そのため、システムの徹底活用にあたっては、**使い方を考え、そのシステムがなぜ開発されたかの開発コンセプトを理解**し、システムに事務所業務のやり方を合わせる必要があります。まだまだ、TKCシステムを徹底活用できている事務所は少ないのではないかと思います。まずは事務所を変えることから始めましょう！

TKC静岡会
齋藤 保幸先生

◆ 第2分科会：「コミュニケーションのうら・おもて」

TKC北海道会 八島 依子先生

コミュニケーションとは、単に情報伝達をすることが目的ではなくその**意味や感情をやり取りする行為**を指します。コミュニケーションの行き違いを防ぐには、価値観の違いがあることを理解することが重要です。会話の中で**自分の考えをしっかりと主張し、その上で相手の意見を聞く**ことでお互いに譲歩できる点を見出すことが上手なコミュニケーションに繋がります。また、**怒りをコントロールすること(アンガーマネジメント)**もポイントです。怒らないことが正しいわけではなく、怒る必要のある事に対して上手に怒り、不必要に怒らないようにすることがアンガーマネジメントです。コミュニケーションの本質を理解することで、所内や関与先とより良い関係を築いていきましょう！

TKC北海道会
八島 依子先生

◆ 第3分科会：「会計事務所の職員として輝くために！」

TKC中部会 浅野 雅大先生

会計事務所職員として求められていることは何でしょうか？心を成長させること、そして、必要な知識を吸収するとともに自分になりたい姿を思い描き、目指す将来のために自己研鑽に励むことです。なぜなら、**経営者という人間に方向を与えてゆくこと、会計人はその任に耐えるだけの人間性が必要だからです**。TKC全国会及び中部会では様々な書籍や研修を用意しています。ぜひこれらを享受頂くとともに、人には負けない何かを身に付けて頂ければと思います。

また、**会計人が「税務・会計・保証・経営助言」という異分野複合型のプロフェッショナルである限り、高度の技術職であるエキスパートの分野が、AIに代替されることはありません**。AIの進化により、記帳代行業務はさらに減少が予想されます。KFSを実践し、勝ち残る事務所の職員として輝きましょう！

TKC中部会
浅野 雅大先生

特別講演

「笑いは心の栄養剤」

六代目 三遊亭円楽 師匠